

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡崎市立常磐中学校  
 種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
 住所 〒444-3173

E-mail : tokiwa@st.oklab.ed.jp

Website : \_\_\_\_\_

児童生徒数：男子 93 名 女子 109 名 合計 202 名  
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### 研究主題

世界とのつながりを求め、未来へ行動する生徒の育成  
 ～よりよい地球を築く TOKIWA ESD プロジェクト～

### ●地域（常磐・岡崎）を愛し、世界とのつながりを求める活動

人とのつながりを感じる	ふるさとを愛する心を育む	英語を活用し世界とつながる
<b>小中交流会</b> 学区の小学生と対話や活動を通して交流を図る 	<b>青木川清掃</b> 地域の青木川を清掃して環境問題について考える 	<b>留学生と東京見学</b> 修学旅行の東京班別行動で、留学生と会話をしながら、施設をめぐる 
<b>長寿者訪問</b> ふれあい教室で作成した絵手紙を持って学区のお年寄りのお宅を訪問する 	<b>こいのぼりボランティア</b> 青木川にこいのぼりを設置する 	<b>フレンドリーミーティング</b> Tokiwa English Day 英語で自分・常磐・岡崎・日本のことを伝える 
<b>ひびきタイム</b> 縦割り学年で、コーラス練習をし、先輩から後輩へ常磐のすばらしいハーモニーを伝える 	<b>鬼まつり土鈴販売ボランティア</b> 生徒手作りの土鈴を販売し福祉施設へ寄付する 	<b>姉妹都市交流使節団員との交流</b> 姉妹都市からの生徒と授業や行事を通して英語で気持ちを伝える 

### ●話し合いを習練するTタイム(Tokiwa think talk time つくる つたえる つかむ つなげる)

- 常磐のよさを伝えていくために、自分の考えを分かりやすく相手に伝わるように話したり、意見の要点を的確につかんで聞いたりするための時間を設定する。
- 1分間スピーチ、朝の読書、Tタイム（意見交流活動）を日課の中に位置付けて常時実施する。（1班4～6名程度 司会・記録《各1名》、記録者は発表者を兼ねる）



### ●人数に応じた話し合いを行う学習形態の工夫

- 各教科、総合的な学習の時間、特別活動において、必要なコミュニケーション力を付けるために、話し合う「場面」を設定し、適切な学習形態で活動する。

### ●英会話を習練するEタイム

- 毎週月曜にタイムリーな話題を取り入れて会話する。全校で話題について聞き取り、対話練習する。

Practice makes perfect!  
 繰り返し英語に触れる場を設定することで、英語に慣れさせる

①6月	Have a nice trip!	修学旅行出発
②6月	Welcome back!	修学旅行お迎え
③6月	How was the trip? It was a lot of fun.	修学旅行お迎え
④7月	It's humid! Be careful Sunstroke.	熱中症に注意!
⑤7月	You can do it! Come on Tokiwa!	市長杯前
⑥9月	Back to school	新学期スタート
⑦9月	Did you finish your homework?	夏休み
⑧9月	One for all, All for one!	体育大会
⑨10月	Practice makes perfect!	新人戦
⑩11月	What is Tokiwa famous for?	常磐の名物は
⑪12月	Let's send a Christmas card.	クリスマス
⑫1月	What is your motto?	モットーは

● 4段階の単元構想と4段階の学習過程を組んだ授業展開を実施

把握⇒思考⇒表現⇒実践を念頭に置いて単元を構想する  
つかむ⇒見通す⇒学び合う⇒生かすを学習過程の展開で組む

● ESD チェックシート

概念	技能	把握			
		把握	思考	表現	実践
人を取り巻く環境に関する概念	I 多様性	【SC1】			
	II 相互性		【SC2】		
	III 有限性				
人の意志・行動に関する概念	IV 公平性			【SC3】	
	V 連携性				
	VI 責任性				【SC4】

各授業や活動時間に SC (Sustainable Chance 持続発展可能な機会) の視点で、概念や技能を意識し、問題解決的な学習活動を実施する



ESDチェックシートを使用して、SC (Sustainable Chance) 持続可能な社会づくりの担い手になるための活動の場面を意識する

段階	生徒の活動	教師の支援
つかむ	1 英語であいさつをし、教師の質問(曜日・日付・天気・時間)に英語で答え、"Go West" を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(ALT・JTE) 英語を学ぶ雰囲気を作る。</li> <li>・(JTE) 「うなずきキャッチ」・「眼力トーク Eye Contact」を使って会話するように指示する。</li> <li>・(JTE・ALT) 音読の速さを変えて、気持ちを込めて読むように指示する。</li> <li>・(JTE) 学習課題を板書する。</li> </ul>
	2 Our City Okazaki の会話文をペアで話す。	
	3 教科書 P43 を音読する。	
	4 本時の学習課題を把握する。	
見通す	5 いろいろな国の学校生活のちがいをについて ALT の紙を聞き取り、助動詞の表現を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(ALT・JTE) 生徒が理解できる英語を用いて「眼力トーク」「つかむトーク」を実践しながら確認しながら進めよう。</li> </ul>
	6 SCマーク、ESDカードを授業中に提示することにより、生徒のESDへの意識を高める。	
	7 いろいろな国の学校生活のちがいをについて ALT の紙を聞き取り、助動詞の表現を学ぶ。	
学び合う	8 次に英語を使って行動してみたいことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(JTE) What do you want to do the next? 本時を活かし、次のユニットの予告をして、これからやってみようことを考えさせる。</li> </ul>
	9 いろいろな国の学校生活のちがいをについて ALT の紙を聞き取り、助動詞の表現を学ぶ。	

● 全教科と総合的な学習の時間・特別活動とのつながりを考えた ESD カレンダーの作成と、系統性をふまえた実践

矢印で教科と総合的な学習の時間とつなぐことにより、ESDの視点による教育課程を再構築する

総合的な学習の時間・特別活動を中心にすすめる

3年間の全教科・領域の流れをつかむことで、各教科間の連携を深め、生徒の実態に合った効果的な指導ができる

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	国語のよさを伝えよう I V	国語のよさを伝えよう II V	国語のよさを伝えよう III V	国語のよさを伝えよう IV V	国語のよさを伝えよう V V	国語のよさを伝えよう VI V	国語のよさを伝えよう VII V	国語のよさを伝えよう VIII V	国語のよさを伝えよう IX V	国語のよさを伝えよう X V	国語のよさを伝えよう XI V	国語のよさを伝えよう XII V
社会	世界から見た日本のすがたを伝えよう I V	世界から見た日本のすがたを伝えよう II V	世界から見た日本のすがたを伝えよう III V	世界から見た日本のすがたを伝えよう IV V	世界から見た日本のすがたを伝えよう V V	世界から見た日本のすがたを伝えよう VI V	世界から見た日本のすがたを伝えよう VII V	世界から見た日本のすがたを伝えよう VIII V	世界から見た日本のすがたを伝えよう IX V	世界から見た日本のすがたを伝えよう X V	世界から見た日本のすがたを伝えよう XI V	世界から見た日本のすがたを伝えよう XII V
数学						一次関数 I V	二次関数 I V	確率 I V	図形 I V	データの活用 I V	図形 I V	図形 I V
理科			動物の生活と生物の進化 I V	動物の生活と生物の進化 II V	動物の生活と生物の進化 III V	動物の生活と生物の進化 IV V	動物の生活と生物の進化 V V	動物の生活と生物の進化 VI V	動物の生活と生物の進化 VII V	動物の生活と生物の進化 VIII V	動物の生活と生物の進化 IX V	動物の生活と生物の進化 X V
英語	英語のよさを伝えよう I V	英語のよさを伝えよう II V	英語のよさを伝えよう III V	英語のよさを伝えよう IV V	英語のよさを伝えよう V V	英語のよさを伝えよう VI V	英語のよさを伝えよう VII V	英語のよさを伝えよう VIII V	英語のよさを伝えよう IX V	英語のよさを伝えよう X V	英語のよさを伝えよう XI V	英語のよさを伝えよう XII V
特別活動(交流)			【地】青木川こいのぼり放流 I V	【地】青木川こいのぼり放流 II V	【地】青木川こいのぼり放流 III V	【地】青木川こいのぼり放流 IV V	【地】青木川こいのぼり放流 V V	【地】青木川こいのぼり放流 VI V	【地】青木川こいのぼり放流 VII V	【地】青木川こいのぼり放流 VIII V	【地】青木川こいのぼり放流 IX V	【地】青木川こいのぼり放流 X V
総合	総合的な学習の時間 I V	総合的な学習の時間 II V	総合的な学習の時間 III V	総合的な学習の時間 IV V	総合的な学習の時間 V V	総合的な学習の時間 VI V	総合的な学習の時間 VII V	総合的な学習の時間 VIII V	総合的な学習の時間 IX V	総合的な学習の時間 X V	総合的な学習の時間 XI V	総合的な学習の時間 XII V
音楽	音楽のよさを伝えよう I V	音楽のよさを伝えよう II V	音楽のよさを伝えよう III V	音楽のよさを伝えよう IV V	音楽のよさを伝えよう V V	音楽のよさを伝えよう VI V	音楽のよさを伝えよう VII V	音楽のよさを伝えよう VIII V	音楽のよさを伝えよう IX V	音楽のよさを伝えよう X V	音楽のよさを伝えよう XI V	音楽のよさを伝えよう XII V
美術	美術のよさを伝えよう I V	美術のよさを伝えよう II V	美術のよさを伝えよう III V	美術のよさを伝えよう IV V	美術のよさを伝えよう V V	美術のよさを伝えよう VI V	美術のよさを伝えよう VII V	美術のよさを伝えよう VIII V	美術のよさを伝えよう IX V	美術のよさを伝えよう X V	美術のよさを伝えよう XI V	美術のよさを伝えよう XII V
技術・家庭	技術・家庭のよさを伝えよう I V	技術・家庭のよさを伝えよう II V	技術・家庭のよさを伝えよう III V	技術・家庭のよさを伝えよう IV V	技術・家庭のよさを伝えよう V V	技術・家庭のよさを伝えよう VI V	技術・家庭のよさを伝えよう VII V	技術・家庭のよさを伝えよう VIII V	技術・家庭のよさを伝えよう IX V	技術・家庭のよさを伝えよう X V	技術・家庭のよさを伝えよう XI V	技術・家庭のよさを伝えよう XII V
保健体育	保健体育のよさを伝えよう I V	保健体育のよさを伝えよう II V	保健体育のよさを伝えよう III V	保健体育のよさを伝えよう IV V	保健体育のよさを伝えよう V V	保健体育のよさを伝えよう VI V	保健体育のよさを伝えよう VII V	保健体育のよさを伝えよう VIII V	保健体育のよさを伝えよう IX V	保健体育のよさを伝えよう X V	保健体育のよさを伝えよう XI V	保健体育のよさを伝えよう XII V
道徳	道徳のよさを伝えよう I V	道徳のよさを伝えよう II V	道徳のよさを伝えよう III V	道徳のよさを伝えよう IV V	道徳のよさを伝えよう V V	道徳のよさを伝えよう VI V	道徳のよさを伝えよう VII V	道徳のよさを伝えよう VIII V	道徳のよさを伝えよう IX V	道徳のよさを伝えよう X V	道徳のよさを伝えよう XI V	道徳のよさを伝えよう XII V

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )